



2019年5月14日
日本銀行京都支店

管内金融経済概況

【総論】

京都府・滋賀県の景気は、緩やかに拡大している。

需要面をみると、個人消費は、雇用・所得の改善や堅調な株価に支えられて、緩やかに増加している。観光は、訪日外国人を中心に好調に推移している。設備投資は、高水準の企業収益を背景に、能力増強・新製品対応投資を中心に、着実に増加している。住宅投資は、堅調な所得環境や低金利を背景に持ち直しつつある。公共投資は、公共施設の建築工事や災害復旧関連工事などが増加していることから、持ち直しつつある。もっとも、生産は、中国経済の減速もあって、弱めの動きがみられている。こうしたもと、雇用・所得環境をみると、労働需給は引き締まっており、雇用者所得も緩やかに増加している。

このように、足もとでは所得から支出への前向きの循環メカニズムが働いており、先行きも基調としては緩やかな拡大が続くとみられる。ただし、米中貿易摩擦の行方、英国のEU離脱交渉の展開、中国の景気情勢等の海外経済の動向や、10月に予定されている消費税率の引き上げなどが当地経済に及ぼす影響には、今後も注視していく必要がある。

【前回からの変化】

総括判断	個人消費	観光	設備投資	住宅投資	公共投資	生産	雇用・所得
➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡

- ➡ 前回から改善度合いが強まっている、または悪化度合いが弱まっている。
- ➡ 前回から変化なし。
- ➡ 前回から改善度合いが弱まっている、または悪化度合いが強まっている。

本稿の内容について、商用目的で転載・複製を行う場合（引用は含まれません）は、予め当店までご相談ください。引用・転載・複製を行う場合は、出所を明記してください。

1. 需要項目別動向

個人消費は、緩やかに増加している。

主な業態別にみると、百貨店売上高は、気温が低めに推移したことから衣料品が弱めの動きとなっているものの、高額品や免税売上を中心に増加している。スーパー売上高は、他業態との競合が続く中、野菜の相場安の影響などから、弱めの動きとなっている。乗用車販売は、エコカー補助金導入時に購入された乗用車の買い替えがみられていることから、持ち直している。家電販売は、家電エコポイント導入時に購入された製品の買い替え需要などから、白物家電や高画質テレビを中心に緩やかに増加している。なお、足もとでは、改元に伴うセールの効果が一部にみられている。

- 百貨店売上高（3月）は、前年を下回った（前年比：▲0.3%）。
- スーパー売上高（3月）は、前年を下回った（前年比：▲0.3%）。
- 乗用車の新車登録台数（3月）は、前年を下回った（前年比：▲4.5%）。
- 家電販売額（3月）は、前年を上回った（前年比：+8.3%）。

観光は、訪日外国人を中心に好調に推移している。

主要宿泊施設の宿泊客数をみると、訪日外国人を中心に増加している。この間、客室稼働率は、前年を下回ったものの、引き続き高水準で推移している。主要観光施設等への入込客数は、堅調に推移している。なお、足もとでは、改元を含む大型連休に伴う客室稼働率上昇等の効果がみられている。

- 京都市内の主要ホテルの宿泊客数（3月、延べ人数）は、前年を上回った（前年比：+8.9%）。この間、客室稼働率は、宿泊施設の増加から高水準ながら前年を下回った（88.8%＜前年同月：90.1%＞）。

設備投資は、着実に増加している。

2018年度の設備投資は、製造業を中心に前年度を上回る見込みとなっている。業種別にみると、製造業では、能力増強・新製品対応投資、生産性向上のための更新投資に加え、研究開発機能を強化する先がみられることから、前年

度を大幅に上回る見込みとなっている。非製造業では、新規出店・改装や不動産投資を行う先がみられるものの、一部で翌年度への繰り延べがみられたことから、前年度を若干下回る見込みとなっている。

2019年度の設備投資は、製造業で引き続き能増投資等が計画されているほか、非製造業で前年度の繰り越し案件や新規出店・改装等が計画されていることから、前年度を上回る計画となっている。

- 管内企業短期経済観測調査結果（2019年3月調査）の2018年度の設備投資額（含む土地投資額）は、前年度を上回る見込み（前年度比：+17.5%）。2019年度の設備投資額（含む土地投資額）は、前年度を上回る計画（前年度比：+6.2%）。

住宅投資は、持ち直しつつある。

貸家に弱めの動きがみられるものの、持家や分譲は一次取得者からの需要を中心に底堅く推移している。

- 京都府の新設住宅着工戸数（3月）は、分譲の増加を中心に、前年を上回った（前年比：+19.3%）。
—— 滋賀県の新設住宅着工戸数（3月）は、貸家の減少を中心に、前年を下回った（前年比：▲13.9%）。

公共投資は、持ち直しつつある。

滋賀県内では弱めの動きとなっているものの、京都府内では公共施設の建築工事や災害復旧関連工事などが増加している。また、京都府・京都市の2018年度補正予算も、災害復旧関連予算を含めると前年を上回っている。

- 京都府の公共工事請負金額（3月）は、市町村の増加を中心に前年を上回った（前年比：+44.7%）。また、年度初来累計では、前年を上回った（同：+16.0%）。
—— 滋賀県の公共工事請負金額（3月）は、市町村の減少を中心に前年を下回った（前年比：▲45.7%）。年度初来累計では、一部大型工事にかかる複数年分の請負金額が一括計上された前年の裏要因により、前年を大幅に下回った（同：▲34.0%）。なお、上記要因を除いた年度初来累計では、前年を下回った（同：▲12.9%）。

2. 生産

製造業の生産活動は、弱めの動きがみられている。主な業種別に見ると、電子部品・デバイスは、自動車向けが増加しているものの、スマートフォン向けを中心に弱めの動きとなっている。汎用・生産用・業務用機械は、半導体向けを中心に弱めの動きとなっている。化学は、化粧品や医薬品を中心に増加している。窯業・土石は、横ばい圏内の動きとなっている。和装関連では、低水準の生産が続いている。

- 京都府の鉱工業生産指数（2月）は、前月を下回った（季節調整済前月比：▲0.1%）。
- 滋賀県の鉱工業生産指数（2月）は、前月を下回った（季節調整済前月比：▲2.0%）。

3. 雇用・所得

雇用・所得環境をみると、労働需給は引き締まっており、雇用者所得も緩やかに増加している。

- 京都府の有効求人倍率（3月）は、前月を上回った（1.61倍<前月：1.58倍>）。
- 滋賀県の有効求人倍率（3月）は、前月を下回った（1.36倍<前月：1.38倍>）。
- 京都府の完全失業率（10-12月）は、前期を下回った（2.3%<7-9月：2.6%>）。
- 滋賀県の完全失業率（10-12月）は、前期を下回った（1.8%<7-9月：2.7%>）。

4. 物価

物価は、前年を上回って推移している。

- 京都市（3月）の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は、食料や光熱・水道、教養娯楽等が上昇したことから、前年を上回った（前年比：+1.1%）。
- 大津市（3月）の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は、交通・通

信が下落した一方、住居や食料、光熱・水道等が上昇したことから、前年を上回った（前年比：+1.3%）。

5. 倒産

企業倒産は、落ち着いた動きとなっている。

- 倒産件数（4月）は、前年を下回った（25件<前年同月：33件>）。
- 負債総額（4月）は、前年を下回った（26億円<前年同月：106億円>）。

6. 金融

貸出は、増加している。

- 貸出（3月）は、法人向けを中心に前年を上回った（前年比：+3.3%）。

預金は、増加している。

- 実質預金（3月）は、法人、個人を中心に前年を上回った（前年比：+2.8%）。

貸出金利は、低下傾向にある。

- 貸出約定平均金利（3月、総合、ストックベース）は、前月並みとなった（0.945%<前月：0.945%>）。

以 上



（円香）

【問い合わせ先】

日本銀行京都支店営業課 がんりゅう こうさか 眼龍、河阪

Tel 075-212-5151（代）

E-Mail : kyouto@boj.or.jp



（一之助）

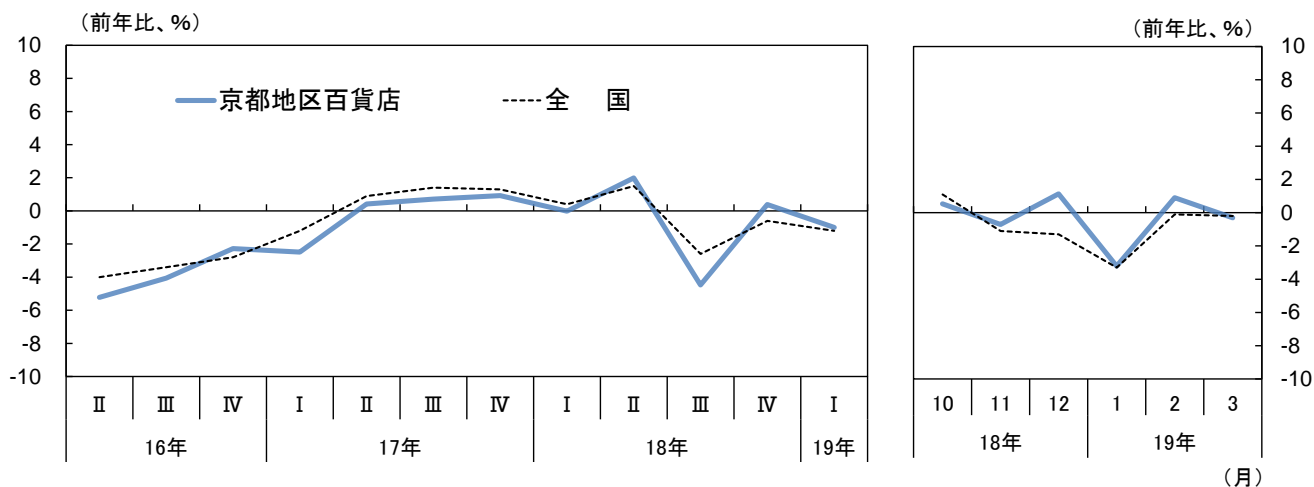
日本銀行京都支店 広報キャラクターの「円香」と「一之助」です。

管内金融経済概況・図表編

1. 需要項目別動向

(1) 個人消費

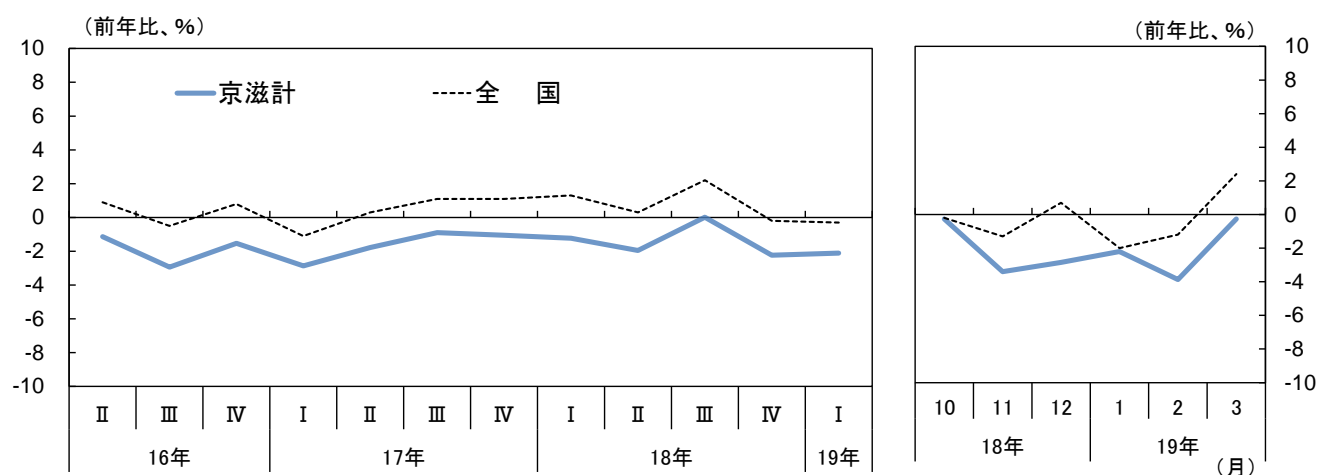
① 百貨店売上高



(出所) 京都百貨店協会、経済産業省「商業動態統計」

(注) 京都地区百貨店は、17/11月以降、当店が集計・公表。

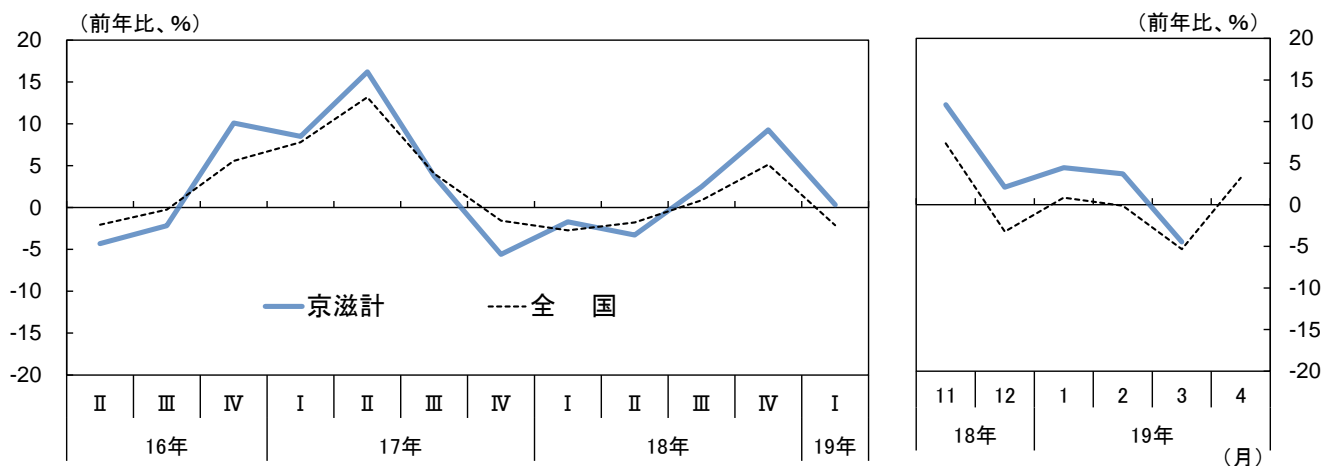
② スーパー売上高



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

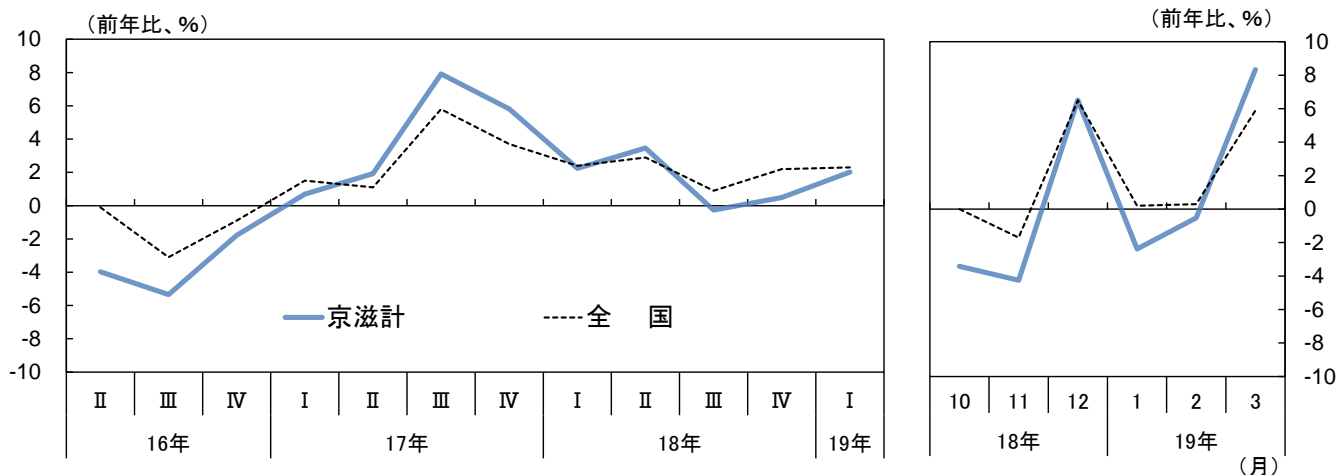
(注) 全店ベース。滋賀県は百貨店を含む。

③ 乗用車新車登録台数 (含む軽乗用車)



(出所) 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

④ 家電販売額

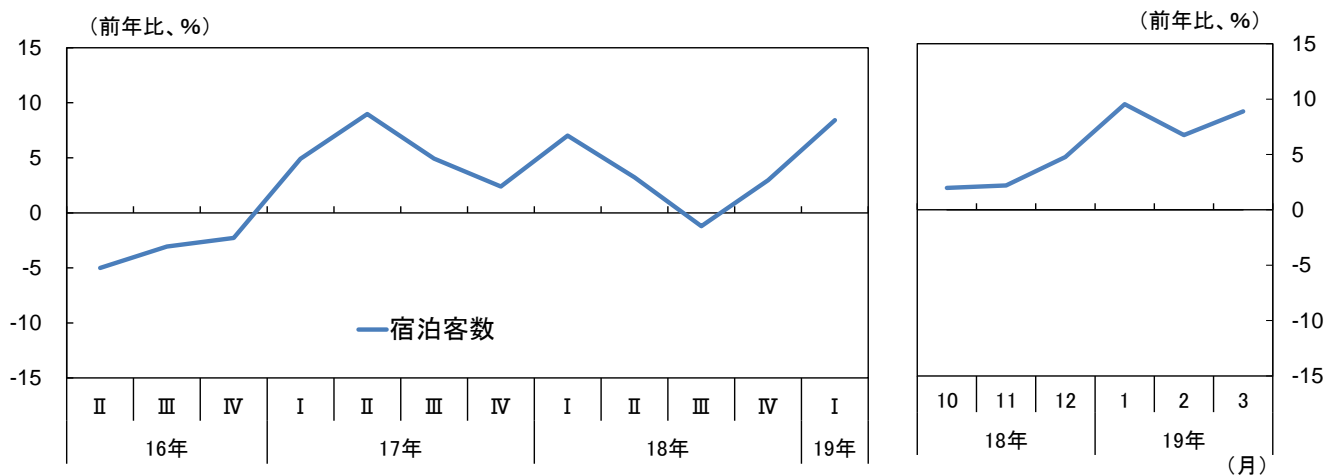


(出所) 経済産業省「商業動態統計」

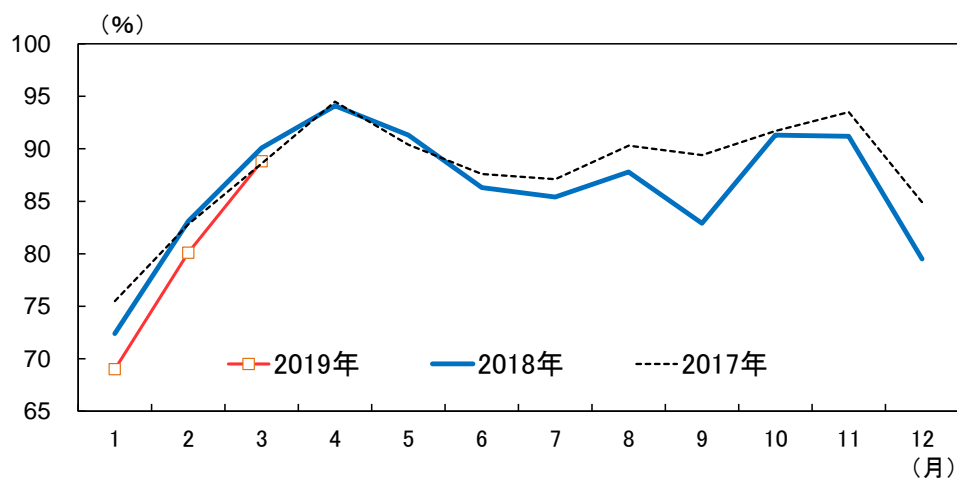
(注) 全店ベース。

(2) 観光

① 京都市内の主要ホテルの宿泊客数 (延べ人数)



② 京都市内の主要ホテルの客室稼働率



(出所) 京都市観光協会「京都市観光協会データ月報」

(注) 対象ホテル数は、月毎に変動する場合がある。

客室稼働率は、本年と前年は同一ホテルベース。2年前のデータは対象ホテル数が異なる場合がある。

(3) 設備投資

① 設備投資額 (含む土地投資額)

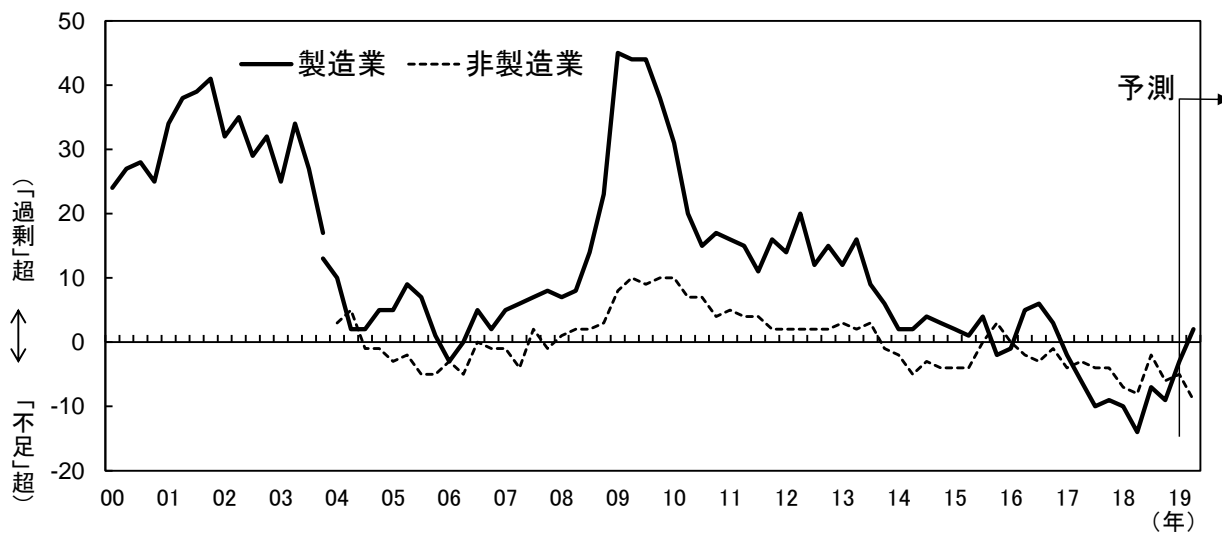
(前年度比、%)

	18年度		19年度	
	見込み	修正率	計画	修正率
全産業	17.5	▲ 4.8	6.2	-
製造業	22.7	▲ 1.6	2.3	-
非製造業	▲ 1.6	▲ 17.1	23.8	-

(出所) 日本銀行京都支店「管内企業短期経済観測調査結果」

② 生産・営業用設備判断 D. I.

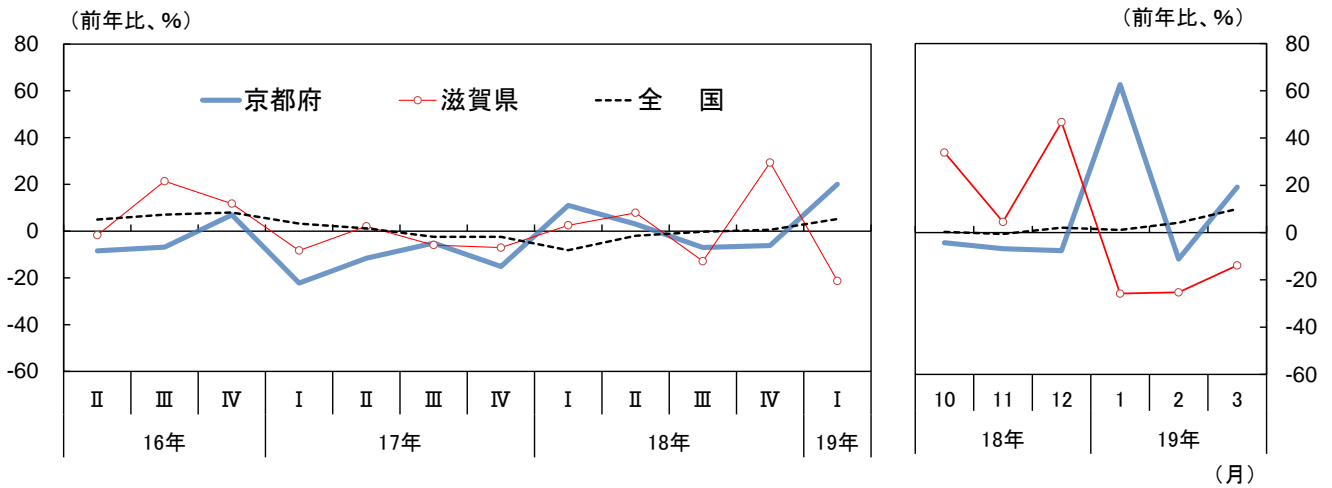
(%ポイント)



(出所) 日本銀行京都支店「管内企業短期経済観測調査結果」

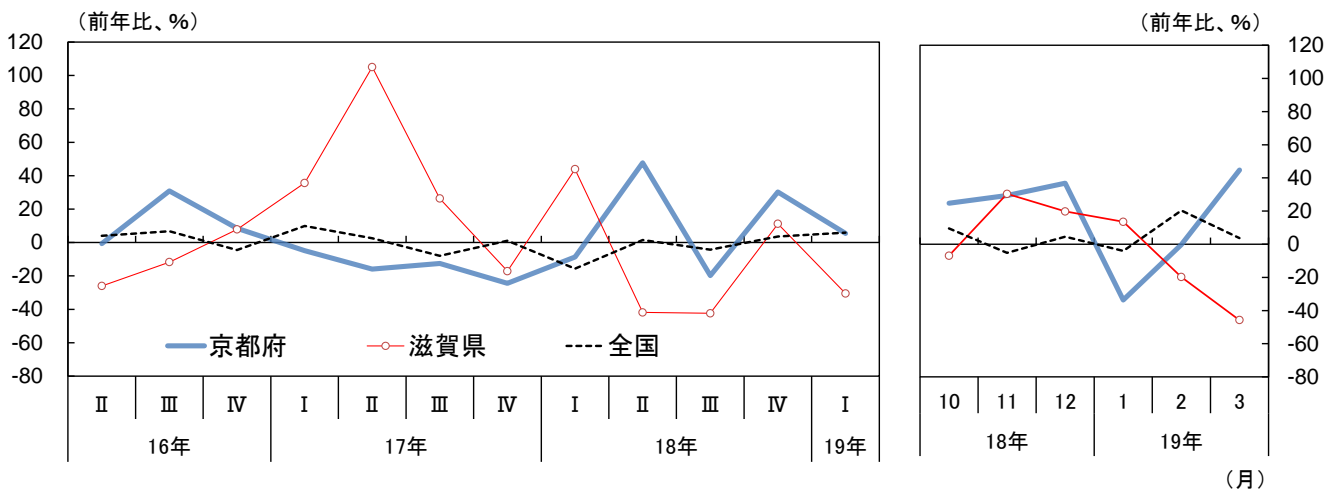
(4) 住宅投資

新設住宅着工戸数



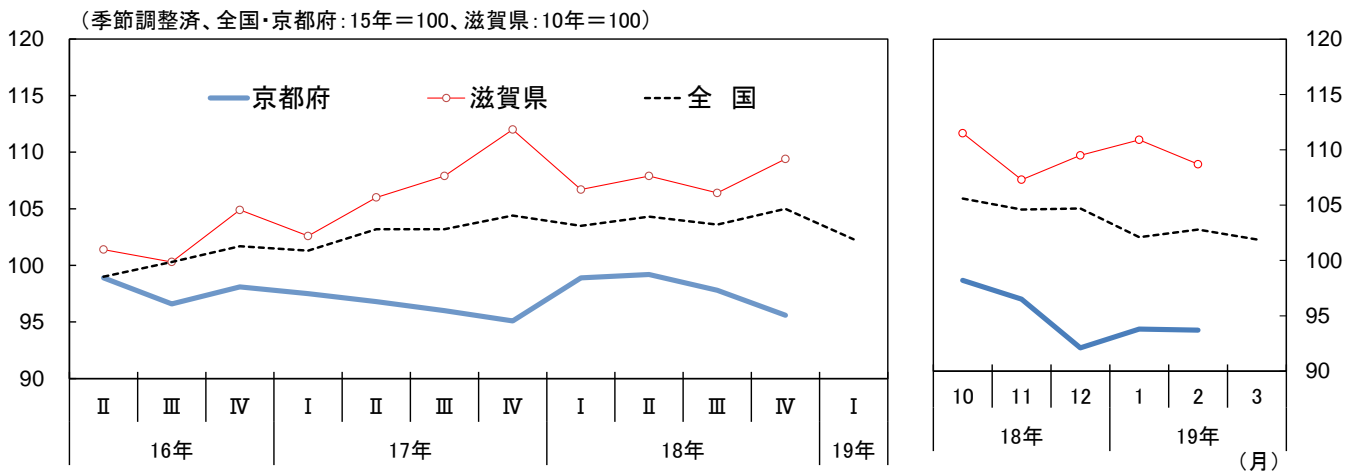
(5) 公共投資

公共工事請負金額



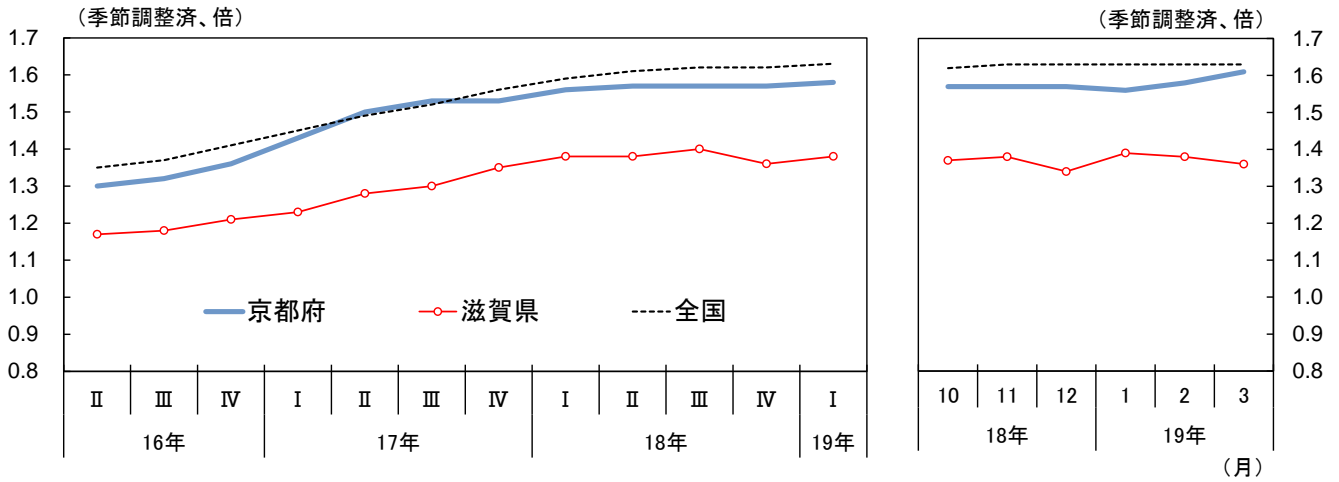
2. 生産

鉱工業生産指数



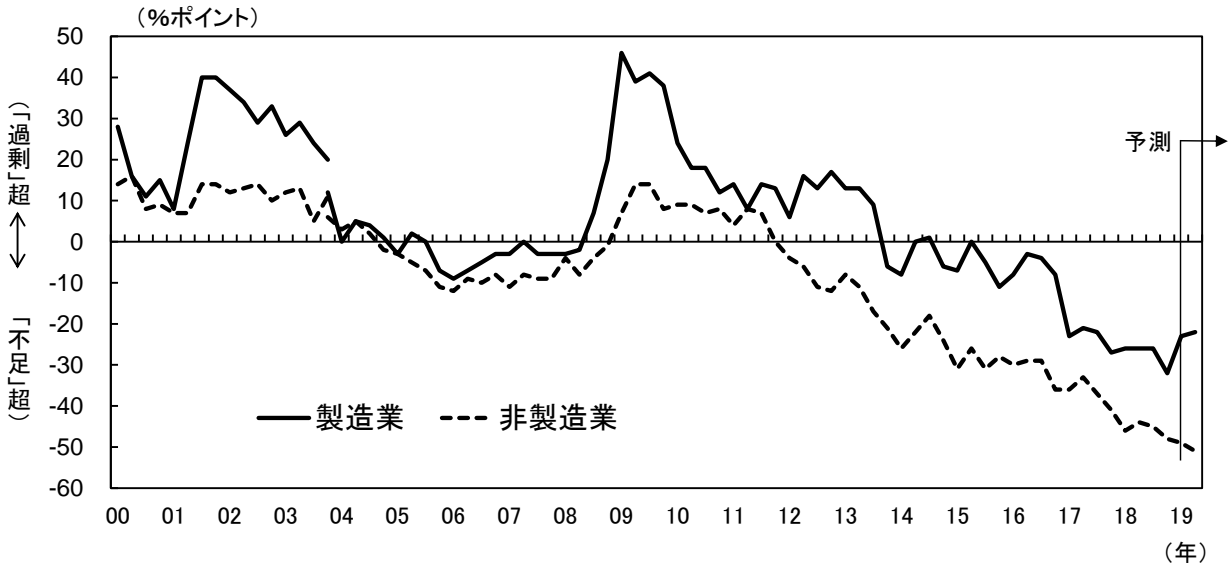
3. 雇用・所得

(1) 有効求人倍率



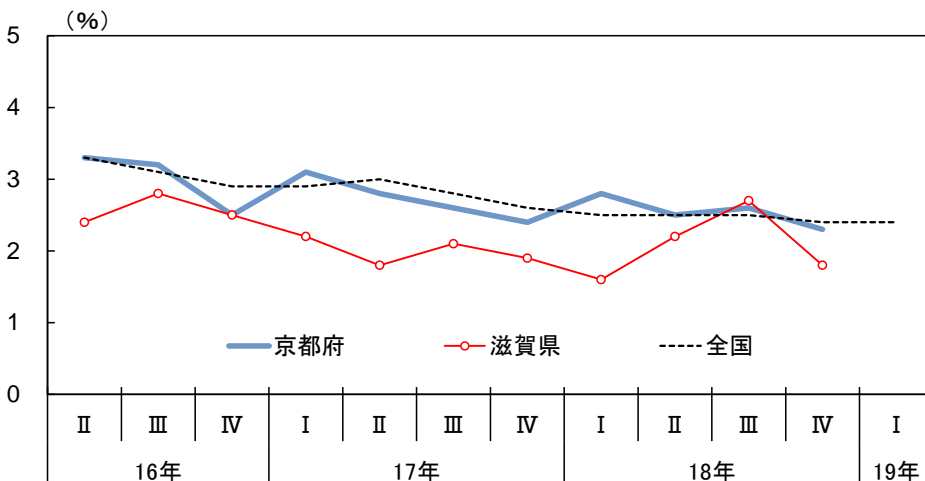
(出所) 京都労働局・滋賀労働局「最近の雇用失業情勢」、厚生労働省「職業安定業務統計」

(2) 雇用人員判断 D. I.



(出所) 日本銀行京都支店「管内企業短期経済観測調査結果」

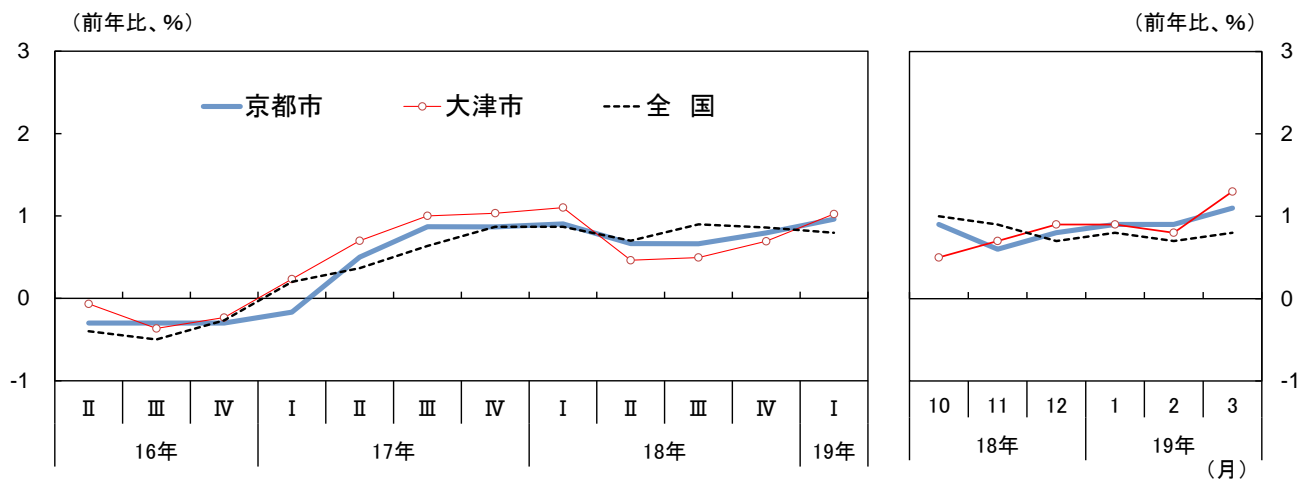
(3) 完全失業率



(出所) 総務省「労働力調査」

4. 物価

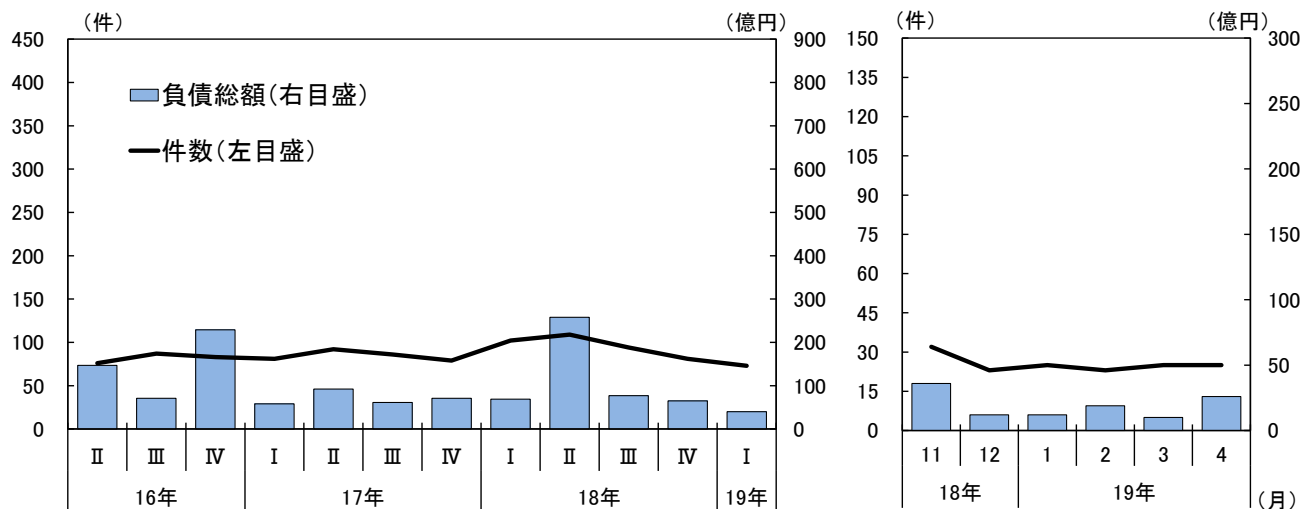
消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）



(出所) 京都府「京都市消費者物価指数」、滋賀県「消費者物価指数（大津市）」、総務省「消費者物価指数 全国」

5. 倒産

企業倒産（京滋計）



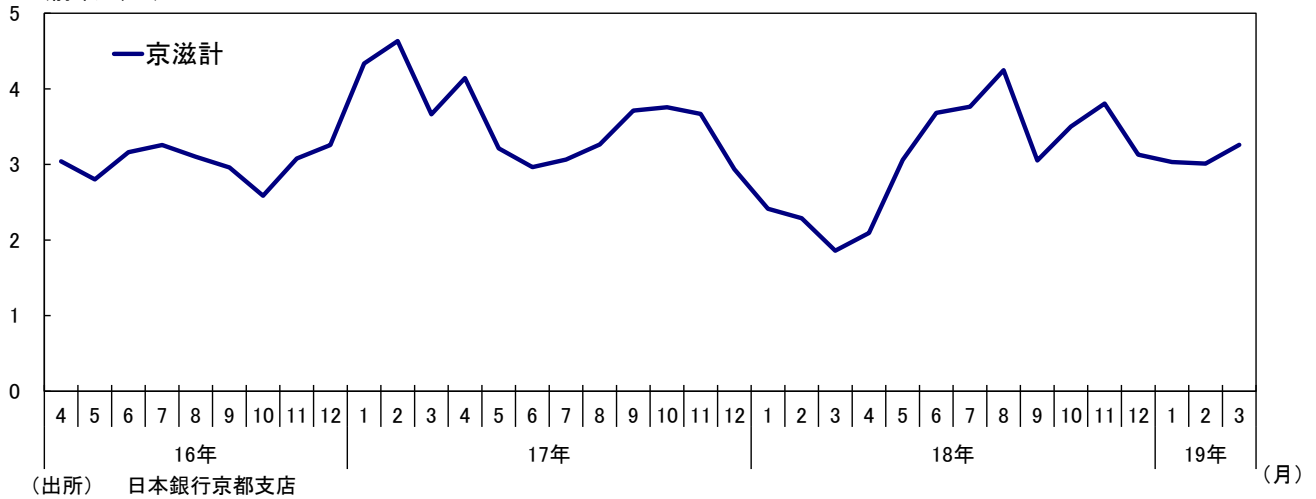
(出所) 東京商工リサーチ「京都市企業倒産状況」、「滋賀県企業倒産状況」

6. 金融

(1) 貸出

貸出残高

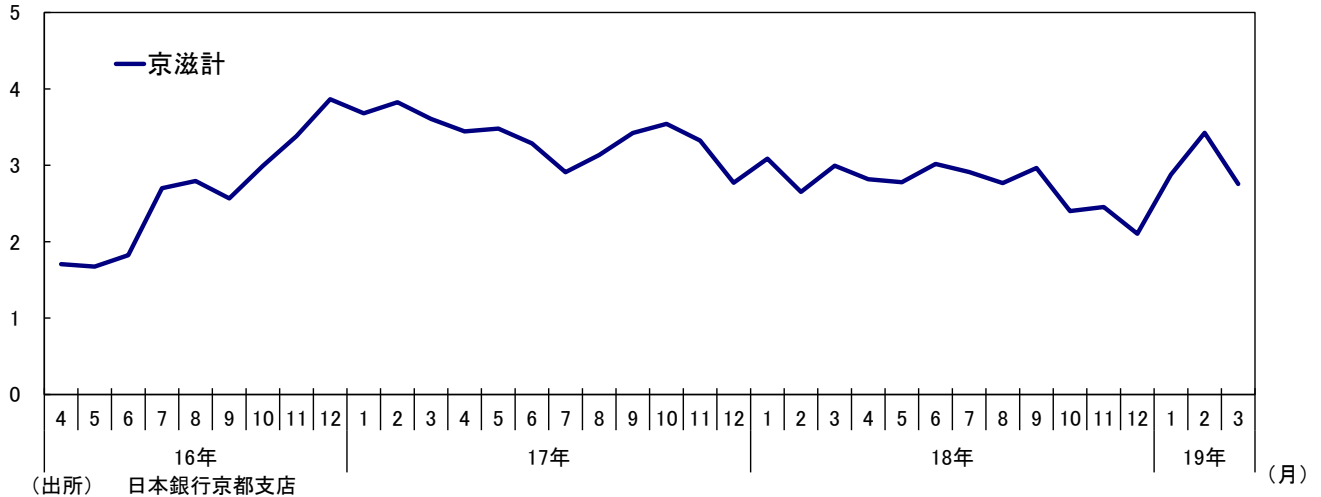
(前年比、%)



(2) 預金

実質預金残高

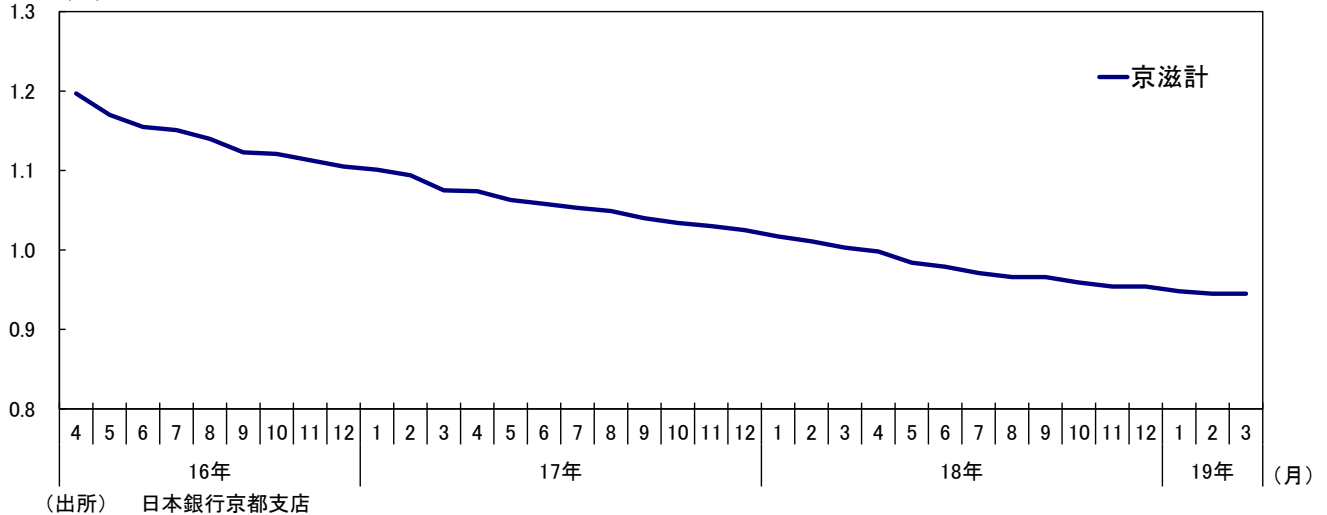
(前年比、%)



(3) 貸出金利

貸出約定平均金利 (総合、ストックベース)

(%)



(注) (1) ~ (3) の定義等については、日本銀行京都支店ホームページ公表資料-時系列データ-金融関連指標の「注釈」を参照。

当店作成の金融関連指標 (貸出、実質預金、貸出約定平均金利、銀行券受払高) にかかる時系列データは、当店ホームページ (<http://www3.boj.or.jp/kyoto/kouhyou4.html>) に掲載しています。